



## 平成30年度防災・日本再生シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会  
会長 山極 壽一(京都大学長)

平成30年度防災・日本再生シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、平成16年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

国立大学協会は、国立大学や大学共同利用機関が実施する教育、研究、地域貢献などの各種活動を社会の皆様にご理解いただくため、平成22年度から、10月及び11月の2か月間を「国立大学フェスタ」と銘打ち、この期間に各国立大学等が地域と連携しながら実施する、シンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。

3. 11 東日本大震災を契機に、平成23年度からは、震災による未曾有の危機を克服し日本の再生に貢献するため、国立大学が平素から実践・蓄積している国土の防災や災害復旧・復興に関するシンポジウムを防災・日本再生シンポジウムとして支援しております。こうした活動を展開することによって、東日本大震災等の経験を生かし、未来の大震災への対応に国立大学が、研究や教育を通して貢献することを期しております。

本日開催される防災・日本再生シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある内容となっております。本日は、参加者の皆様方のご意見をいただき、防災を含めて地域貢献にかかわる国立大学の教育・研究が一層発展する機会となるとともに、地域で防災にかかわる活動をしておられる住民の方々、地元の自治体、政財界との方々とのより緊密な連携が強化される機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。